

# 令和4年12月度 教育委員会要旨録

1 開催日 令和4年12月22日（木） 午後1時00分～

2 場所 多可町役場 特別会議室

3 出席者 教 育 長 越川 昌信  
委 員 木俣 美代子  
委 員 岩田 光代  
委 員 名生 陽彦

4 陪席者 教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織  
教育総務課副課長 山本 聡  
学校教育課長 吉田 勇二  
学校教育課副課長 吉川 成悟  
こども未来課長 市位 孝好  
教育総務課主査 有田 好孝  
教育総務課 吉田 宏行

## 5 議 案

承認第4号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について（令和4年11月分）

## 6 協議事項

(1) 多可町児童福祉施設原油価格・物価高騰対策一時支援金交付要綱の告示について

(2) 令和4年度教育に関する予算について

## 7 報告事項

(1) 各種委員会の報告

(2) 教育委員会事務局の報告

【教育総務課】

① 令和4年度（第74回）兵庫県教育功労者表彰

熊田 正博氏 (元教育長職務代理)

教育委員として9年9ヶ月、教育委員長として4年、教育長職務代理として7年という重責を担って頂きました。

旧中町時代の平成13年4月1日から令和3年12月31日までの20年9ヶ月と長きにわたり本町の教育の発展に尽くされた功績を称え、この度の受賞となりました。

②令和4年度就学援助等について

③多可町立統合中学校建設計画について

④多可町立統合中学校開校準備委員会の開催について

第2回：11月30日(水)午後7時30分～

於；ベルディーホール会議室

第3回：3月16日(木)午後7時30分～

於；ベルディーホール会議室

(総務部会)

第3回：11月21日(月)午後7時00分 於；多可町役場

第4回：1月17日(火)午後7時00分 於；多可町役場

(通学部会)

第2回：11月17日(木)午後7時30分 於；多可町役場

第3回：12月15日(木)午後7時30分 於；八千代プラザ

(教育・事務部会)

第1回：11月28日(月)午後1時30分 於；多可町役場

⑤多可町図書館事業について

○1月の行事予定

⑥那珂ふれあい館事業について

○1月の行事予定

⑦令和5年成人式について (担当：生涯学習課)

○令和5年1月8日(日) 受付：12:00～ 開式：13:00～

⑧11月定例教育委員会要旨録について

【学校教育課】

①1月の行事予定について

【こども未来課】

①1月の行事予定について

(3)次回教育委員会について(案)

と き：令和5年1月26日(木) 午後1時00分～

(4)その他

閉 会

## 【開 会】

教育長あいさつ

### 日程第1 会議録署名委員の指名

木俣委員と名生委員を指名

### 日程第2 教育長の報告

#### (1) コロナウイルス感染症の状況について

寒さが厳しくなるにつれてインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されます。現在多可町内の小中学校の陽性者は児童生徒18名、教職員1名の合計19名、濃厚接触者は、児童生徒28名、教職員2名の合計30名という状況です。また、中町南小学校の3年生1クラスが現在学級閉鎖となっております。多可町内では11月14日に松井小学校で学級閉鎖をしたのを皮切りに7件の学級閉鎖や学校閉鎖が続いております。12月に入ってから4件の学級閉鎖を行いました。さらに個人と社会全体の免疫力をつけるために実施されておりますコロナワクチン接種の状況についてご報告します。11月22日現在の1回目接種は、4歳以下の乳幼児ワクチンが多可町では0.93%、5歳～11歳までの小児ワクチンが16.55%、12歳～19歳以下のワクチン接種率が85.5%となっております。また、町全体でのワクチンの接種状況は5回目を終えた人は10.63%です。ワクチン接種は順調に進んでおりますが、年齢が低くなるに従って、接種率は低くなり接種を見合わせておられる方々が多い状況です。引き続きワクチン接種も含めた感染症対策を行って参ります。

#### (2) 第118回多可町議会定例会について

第118回多可町議会定例会が12月2日～23日まで開催されています。12月2日の初日には、学校給食事業特別会計補正予算案など29の議案が上程されました。12月15日・16日には一般質問が行われました。教育委員会関係では、大山由郎議員から「きょうだい児と家族を支援せよ」、門脇教蔵議員からは「多可町白川教育生活支援金について」、藤本一昭議員からは「地域公共交通タクシー・バスの活用を」についてそれぞれ質問があり、町長答弁の後、関連課として教育委員会事務局各課長が追加質問に答えました。また、日原茂樹議員からは、「こども園の安全管理対策は万全か」との質問があり教育長から送迎バスなどの安全対策について答弁した後、こども未来課長が追加質問に答えました。また、12月20日の議員全員協議会では、本日の定例教育委員会でもご協議いただきます臨時予算案や教育委員さんの人事案件についてご説明をしております。明日12月23日の最終日には人事

案件や予算案などの採決がなされる予定です。

(3) 小中一貫教育の推進について

12月の校長会と教頭会で多可町の進める小中一貫教育について協議をしております。「第2次多可町学校規模適正化基本計画」にも小中一貫教育の研究を進める計画を示しているとおり令和8年度の中学校統合をふまえ、これまで以上に小小連携、小中連携を進め、9年間を見通した教育、よりスムーズに中学校へ進学できるような配慮が必要となってきます。国においては、発達の早期化への対応、いじめや不登校が中学校に進学した際に増えるなどの課題に対応するため、平成27年6月に学校教育法の一部を改正し小中一貫教育を適切に実施するための仕組みが整い全国的に小中一貫教育が浸透しつつあります。多可町においては、小中連携が不十分な状況で不登校などの課題があることから、基本計画にも触れているように小中一貫教育の研究を進めていくこととしました。研究の方向としましては、そのたたき台となる指針を定めて、小中一貫教育の準備を推し進めることとし、統合中学校が開校する令和8年度より町内1中学校5小学校の施設分離型の小中一貫教育の実現をめざして参りたいと考えております。今後、小中学校の管理職との協議を通して情報共有しながら取り組みを進めて参ります。

(4) あったかあいさつ運動の表彰について

12月9日、あったか挨拶運動の表彰式を「多可町民のつどい」の会場となったベルディーホールで行いました。今年度は学校はもちろん、子供会やスポーツ少年団さらには区長さんなどから推薦がありました。個人では高岸区長さんからのご推薦で中町南小学校の3名が、大袋子供会からのご推薦で杉原谷小学校の1名が、中三原幹部会のご推薦で八千代小学校の3名が表彰されました。また団体では各学校からのご推薦で中町北小学校、杉原谷小学校、八千代小学校の児童会の皆さんが、西安田子供会からのご推薦で西安田子供会の小学生の皆さんが、八千代少年野球クラブ指導者の皆さんからのご推薦で八千代少年野球クラブの皆さんが表彰されました。表彰された皆さんをはじめとしてあいさつの輪が町中に広がっていくことを願うとともに、これからも気持ちのよいあいさつを続けてくれることを期待しています。

(5) こども芸能祭について

12月11日、ベルディーホールを会場に第10回こども芸能祭を開催しました。コロナ禍のため開催を見合わせておりましたので3年ぶりの開催となりました。この日は、中町北小学校播州歌舞伎クラブの寿式三番叟を皮切りに、八千代小学校ささゆり鼓笛チーム、color's☆、千ヶ峰太鼓、ダンスクラブDROP、中町中学校龍神太鼓クラブ、あまのじゃく”め組””は組”、多

可少年少女合唱団、カブキッズたかの9団体計139名の皆さんが出演してくれました。会場には266名の来場者があり、子どもたちの元気いっぱいの演技に盛大な拍手をいただきました。音響設備も改修されたベルディーホールで、地域の皆様に元気をお届けできました。また、出演した子どもたちも緊張の中で舞台に立ち今までの練習の成果を披露した経験が、自尊感情の向上を通じた更なる成長に繋がっていくことを期待しています。

(6) 西脇市多可郡医師会との懇談会について

12月15日、多可町と西脇市多可郡医師会との懇談会がありました。この懇談会は毎年開催されているもので、教育委員会事務局からは、教職員のストレスチェックや心の健康教育の概要説明、令和4年度の運動器検診や色覚検査の実施状況等を報告しました。医師会の皆様にはコロナ禍の中、様々な取組にご協力をいただいております。今後とも、情報共有を図りながら子どもたちの命と健康を守るために、連携協力しながら取り組みを進めていきたいと考えています。

(7) おめでたいニュースについて

11月28日、令和4年度兵庫県公立小中学校等教職員永年勤続表彰式が、加古川プラザホテルで開催され、勤続20年となった教職員の皆さんが表彰されました。多可町からも中町南小学校の高見裕美（ひろみ）教諭、中町北小学校の篠原隆浩主幹教諭・阪上裕子（さかうえゆうこ）教諭の3名の先生方が表彰を受けています。12月12日には兵庫県教育功労者表彰が兵庫県公館で開催され、公立学校教職員として30年以上勤務し、功績顕著な者として多可町から八千代小学校の竹中裕貴校長と、永年教育行政に従事し、功績顕著な者として元多可町教育長職務代理の熊田正博さんが斎藤兵庫県知事から表彰されておられます。12月15日には第13回ひょうご新聞感想文コンクールで八千代中学校3年生の繁縄綾花さんが「戦争を知るべきだ!!」という感想文で神戸新聞社賞の栄誉に輝き、神戸新聞に感想文が掲載されました。また、12月18日にはかがやき多可賞の授賞式が、アスパルで開かれ、新人王のタイトルに輝いたプロ野球読売巨人軍の翁田大勢さんを含む8名の方々が出席され吉田町長から表彰されました。高校生では第104回全国高等学校野球選手権大会に出場した社高校谷口翔英さん、藤本真央（まひろ）さん、準優勝した山口県の下関国際高校の岡本裕大（ゆうだい）さん、中学生では第77回国民体育大会少年馬術代表の中町中学校大谷永吉さん、第30回ヤングリーグ選手権大会に出場した丹波ヤングベースボールクラブの中町中学校吉田総悟さん、後藤歩大（あゆた）さん、八千代中学校の宮内汰史（たいし）さんが表彰されています。また、翁田大勢さんは今年から多可町が創設しました多可町ふるさと親善大使の第1号に任命されています。

教育長：以上7点ご報告いたしました。なお、令和8年4月開校予定の統合中学校に向けての取組の進捗状況につきましては、後程、教育総務課から詳しく報告いたします。ただ今の説明につきまして何かご質疑等ございますでしょうか。

教育長集約：よろしいですか。それでは日程第3承認第4号多可町教育委員会後援名義申請の承認について令和4年11月分を議題とします。事務局の説明を求めます。

事務局：それでは資料につきまして説明いたします。多可町教育委員会後援名義申請の承認につきまして、多可町教育委員会事務委任等に関する規則第4条の規定により、別紙のとおり専決処分をしましたので承認を求めるものでございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

教育長：ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質疑等ございますか。よろしいですか。

委員：はい。

教育長：質疑等ないようですので採決に入りたいと思います。承認第4号多可町教育委員会後援名義申請については、承認することでご異議ございませんか。

教育長集約：ありがとうございます。それでは承認第4号は異議がないものと認め、事務局の提案どおり可決いたします。続きまして、日程第4協議事項に入りたいと思います。まず、(1)多可町児童福祉施設原油価格・物価高騰対策一時支援金交付要綱の告示について協議いたします。事務局の説明を求めます。

事務局：こども未来課からは10月の定例教育委員会で11月臨時議会補正予算に上程をさせていただきました、多可町児童福祉施設原油価格・物価高騰対策一時支援金について10月の定例教育委員会で説明させていただいた際、保育施設等への一時支援金ということで申し上げておりましたが、総務課、財政課と調整した結果、多可町児童福祉施設原油価格・物価高騰対策一時支援金にさせていただきました。事業の目的は、昨今の物価高騰等の影響を受けている保育施設等に対して、価格上昇分の一部を支援することによって安定的なサービスを支援することです。支援金の額については資料の表のとおりです。表の金額につきましては県事業の支援金の県の示している各園等の認可届における認可人数によって算出した金額と町の支援金は県の事業に随伴して県の支援金の2分の1を上乗せして合算した金額で掲載をしております、支援金額を定員ごとに記載しております。各園への支援金額は10月の定例教育委員会の資料を参考にし

ていただけたらと思います。

この一時支援金は、年明けの1月1日から施行し令和5年3月31日で失効する時限立法というところでご理解いただきたいと思います。1月以降各園に支給させていただきたいと思います。負担割合は県が3分の2、町が3分の1で施設側の負担はないということです。以上簡単ですが、説明を終わらせていただきます。ご審議賜りますようよろしくお願いいたします。

教育長：これは協議事項ですので、この件について何かございましたらお願いいたします。

委員：各施設が費用を出さなくてもよいというのは、これはありがたいと思いますが、すべて国、県、町が、出してくれるというのは、各家庭にしわ寄せや負担は一切ないと考えてよいのでしょうか。

事務局：給食のおかずなんかですと、どうしてもそれを受けやすい部分がありますので園からも、そういう要望がございまして、それについてもこの支援金で補填するということです。ただ、光熱費、電気代がかなり高くなっていると聞いておりますので、その分についてもこの支援金で、できるだけ援助したいなというところではあります。ご理解いただきたいと思っております。

委員：はい。

教育長集約：委員さん特にないのですか。では続きまして（2）令和4年度教育に関する予算について協議いたします。事務局の説明を求めます。

事務局：それでは学校教育課から補正予算の説明をさせていただきます。この度、国から学校等における感染症対策支援事業が拡充されております。この事業は、令和4年3月に国から交付決定を受けたもので、1校当たり90万円の枠の中で8校分の事業を実施しております。この度、一校当たりの枠が90万円から104万円に拡充されておりますので90万円と104万円の差額拡充分として14万円の8校分、総額112万円を備品購入費で計上させていただいております。その内容についてはこれまでと同様、学校における感染症対策の部分と子どもたちの学習保障で、これについて必要な経費となります。国庫補助金が2分の1で56万円を計上しております。内容については、子どもたちの学習保障の面で特別支援教室で使用しておりますiPadで、これが非常に古くなっております。このiPadが特別支援の教育上、非常にアプリが充実しているということで各学校で使用されております。古くなってOSの更新が少々しにくくなっておりますので、今回補助金の中で整備させていただこうと考



ております。説明については以上です。ご審議のほどよろしく申し上げます。

教育長：続いてこども未来課も併せて説明していただき、そのあとで少し協議していただきます。

事務局：失礼いたします。先程、教育長が申し上げました、日原議員さんの一般質問の中の「こども園の安全管理対策は万全か」というところで、通園バスの園児置き去りを防止する安全装置の設置に伴います改装についてです。町のバスは4台を所有しており、中区の3園さんにつきましては1台ずつ自園で運行されていますので、合計7台分について安全装置をつけさせていただくものです。需用費の修繕費ということで、これにつきましては、町所有のバス4台に充てる部分です。1台当たり、国の基準が20万円が上限ということで、まだ詳しい金額や仕様が実際に示されておりません。国が言っております20万円前後じゃないかなということで予算といたしましては、安全装置を設置する分について20万円に消費税を掛けまして22万円の4台分ということで88万円という形とさせていただいております。中区の3園さんには間接補助ということで各園さんで設置をされた分について20万円を限度にお支払いさせていただくということで、20万円掛ける3台で60万の予算を組ませていただいております。その補助分の9割が国から返ってきますので126万円の収入があるということです。実際の負担は1割が持ち出しということになります。子どもの安全安心のためということで、ご理解いただきたいと思っております。以上です。

教育長：今説明させていただきました学校教育課とこども未来課のこの度の予算案についてご意見、ご質問ありませんでしょうか。どなたでも結構です。

教育長：ところで学校教育課副課長、国庫補助金の説明のところですが全部がiPadではないんですね。

事務局：iPadと感染症対策の備品を購入していくのと合わせて112万円の増額補正という形です。

教育長：他の委員さんもどうでしょうか。ご感想でも、ご質問でも結構ですのでどうぞ。

委員：お伺いしたいのですが、送迎バスでの子どもの置き去り防止等の安全対策の対応はどのようになっておりますでしょうか。

教育長：こども未来課長お願いします。

事務局：失礼します。置き去りを防止する安全装置の件ですが12月20日に国土交通省である程度の方針が決まったと出ておりました。方法は二つあるとのこと。1つは通園バスの最後部にバスの降車を知らせるピンポンと押すようなスイッチを設置しておきエンジンを止めた際、そこまで運転席側から子どもがいないか点検して最後部のブザーのスイッチを押して止めて降りるという装置か、もう1つは通園バスの天井にセンサーを取り付けておき、車内に子どもがいないかを検知し、子どもがいれば園の方に子どもがバスに残されているを通知するという装置の2つが今、案に上がっております。ただどちらを採用して、どういう仕様で費用が幾らほどかかるかが判明するのは年明けになるのではないかと聞いております。その発表された段階で4台はすぐに設置して、中区の3園さんについても、ある程度研究されている園もありますが、できるだけ早期の設置を目指したいと思います。以上です。

教育長：よろしいですか。

委員：はい。

教育長：委員さん何かありましたらお願いします。

委員：今言われた話についてですが、私も幼稚園の現場におりましたので、実際のところ通園バスの中で園児たちからずっと目を離さなければ対応できるはずのことがどうしてできなかったのか、そこはやりきれないんです。そのようなところを確実な安全対策の強化、これは人の目、職員、運転士、添乗員のそれぞれの目視の強化を指しますが、安全面に確実に繋がるということでしたら必要な経費だと思います。子どもは多可町の宝です。町のバス4台プラス3台の安全装置はぜひ取り付けていただきたいと思います。

教育長：できるだけ早く安全装置の設置をしたいと思います。

教育長集約：それでは(2)令和4年度教育に関する予算についてご協議いただきありがとうございます。続きまして日程第5報告事項に入りたいと思います。まず、(1)各種委員会の報告についてですが、委員さんで出席された会議の報告等がございましたら順によりしくお願いします。

教育長：安藤委員さんが委員会に出席されていたということですので、事務局に何か言付けとかありませんか。

事務局：12月15日に社会福祉協議会の会合に出席されたとのことですが内容についてお聞きしておりませんので、1月の定例教育委員会でご報告いただきました

いと思います。以上です。

教育長集約：それでは各種委員会の報告を終了し、報告事項（２）教育委員会事務局の報告に入ります。まず教育総務課から報告をよろしくお願いします。

事務局：教育総務課より、合計８点につきましてご報告をさせていただきます。

まず１点目です。教育長の冒頭の挨拶にもありましたが、今年度の第７４回兵庫県教育功労者表彰がございまして、元教育長職務代理であります熊田正博氏が表彰されておりますのでご紹介とご報告をさせていただきます。

２点目に、令和４年度就学援助の状況につきまして、ご報告いたします。

－ 事務局から内容について説明 －

続きまして３点目です。多可町立統合中学校建設計画につきまして担当から報告をさせていただきます。「多可町立統合中学校建設計画」を策定いたしました。現在設計業者の選定にあたっております。業者が選定されましたら、その後に詳細な設計に移りますので、簡単に説明させていただきます。この建設計画策定にあたりましては学校の教職員の皆様にヒアリングやワークショップを行ったりしながら、要望を反映させたものになっております。周辺施設の有効活用と活性化についてというところに施設全体の平面図が示されております。統合中学校はグラウンドの北側の位置に建設する予定です。この場所には生涯学習まちづくりプラザですとか、子育てふれあいセンター、アスパルがございまして、このエリアの一体利用そして旧中町中学校を新しい都市公園として、このエリアの活性化を実現していきたいと考えております。生涯学習まちづくりプラザの建設、統合中学校の新設、そして都市計画都市公園の活性化を現在このようなイメージで進めております。

この建設計画は５つの大きなコンセプトを設定し、このコンセプトの中で一番上に共感というものを設定しております。国が示す５つのコンセプトに多可町は１つプラスして、「共感」というものを一番上に掲げているわけです。具体的な敷地のイメージですが、まず建物の配置のイメージとしてグラウンドの北側に統合中学校を建設します。そして、将来的な増築もイメージしており、その東側に将来の増築エリアを設定しております。そしてグラウンドは今の中町中学校とほぼ同程度のグラウンドを確保させていただき、バス停や駐車場の配置のイメージとして加美区、八千代区からのバス通学を想定してバスベイやバスターミナルの設置を計画しております。そして、特徴的な部分として、アーケードとして施設間を屋根で結び通学や降雨時に屋根がかかって便利だなというようなイメージをこの辺りで設計の方で反映できたと考えております。地域開放という部分もあり、この辺りで学校と地域とがふれあうような形の交流ができればと考えております。

ゾーンのイメージとしましては添付の図のイメージのとおりですが、真ん中

の緑の点線の部分で大きく地域開放部分と学校の部分に分けておりまして、下が学校の部分となります。普通教室と管理諸室と駐車スペースといったもので、これまでの学校のエリアとそれに隣接するような形で地域開放の部分を設定します。そのセキュリティとか交流面とかを設計の方で反映させつつ、ハードの部分で反映させていきたいと考えております。そして所要室の計画方針としましては、運営方針としては従来型の特別教室方式を採用いたしますが、将来的には教科センター方式への転用も可能な配置を計画しております。そして、なるべく教室を広く使えるように、ロッカースペースも外側に設置して各教科の先生方が準備をするスペースを少し確保したいと考えております。

そして計画の学級数ですが、統合当初は13学級とし特別支援学級は4学級程度を想定しております。また、普通教室のゾーンですが、普通教室は現時点の計画ですと同じフロアに3学年を配置し、学年間の交流や学校の一体感を醸成していきたいというふうに考えております。また、普通教室ですとか、多目的教室を複数配置しておりますので、将来の学級数の減少により教室に余裕ができましたら、そこを小学校に転用することも検討できる設計にしたいと思っております。そして技術とか家庭科、理科室等のいろいろある特別教室ですが、そういったものが繋がりが深いグルーピングができるように、同一階に配置したいと考えており、それと調理室とかの少し大きな部屋の設置も予定しております。そこは地域開放を念頭に置いた場所とか規模に設定していきたいと思っております。また管理諸室ゾーンですが、先ほど申し上げました「共感」という部分で、カウンセラー室ですとか相談室、様々な大きさの複数の部屋で構成したいと考えており、特に普通教室の周りに生徒の相談用の部屋などを確保したいと考えております。また、地域連携ができる地域連携室という部屋も必要であると考えております。

その他に既存の学校の記念品や思い出の品を展示するメモリアルスペースなどもどこかに設置したいと考えております。

運動施設ゾーンとして、屋外からも利用しやすい備蓄倉庫や避難所の機能も持たせる予定ですので、今ある備蓄倉庫を新しい学校にも設置するというふうに考えております。そして、一番特記すべき設備計画ですが、全教室及び管理諸室、アリーナ武道館に空調を設置したいと考えております。

以上のようなゾーン分けや施設の考え方をもちまして、諸室の面積を算出すると統合中学校の学校規模は大体7900平米になると考えております。

今回の生涯学習まちづくりプラザですとか、アスパルとか、子育てふれあいセンターですとか、既存の施設との連携というのがメインのテーマとなっております。これを一次開放エリア、二次開放エリア、三次開放エリアという形で区切り、学校と地域の安全をセキュリティ上、担保できるような形で整備していきたいと思っております。一次開放エリアとは、今でも休日に実施しておりますグラウンドの開放

ですとか、夜間の体育館利用のことです。二次開放エリアとはコミュニティ活動等に多目的大教室や調理室を地域に開放するような計画で、三次開放エリアとは地域の方々の生涯学習や特別教室の将来的な解放も考慮した計画です。将来的には、例えば技術室ですとか音楽室などを開放できるようにハード面で担保していこうと考えております。そして6つのコンセプト、「生活」、「学び」、「環境」、「共感」、「共創」、「安全」のこういったものをテーマにそれぞれ目指すべき部分、目指すべき目標を立てて、そのイメージの写真を載せております。

そして防災機能として、それぞれ防災、発災から復旧、復興に向けたフェーズに合わせた学校の設備というものを検討していきたいと考えております。それと環境への配慮ということで、大きくは照明のLED化、太陽光パネルの設置、木質化とこういったものを積極的に採用して環境に配慮した学び舎というものを実現していきたいと考えております。

そして最後のページの事業スケジュールです。まずこの建設計画をもちまして設計業者を決定し、基本設計・実施設計を進めて参ります。それを令和5年度にかけて実施し、令和6年度の6月ごろからいよいよ造成とか建設工事を開始し、令和7年の12月ぐらいまでに終了して引っ越し作業と考えております。

最後に概算工事ですが、校舎等で41億円、附属施設で2億円、外構整備で6億円、そしてその他のものの撤去ですとか共通仮設費で1億円と合計50億円の事業費を想定しております。現在の物価上昇の関係もある程度見込んでおりますが、まだまだ上が見えないという状況でございます。この辺は設計する中で詳細に詰めていきたいと考えております。以上でございます。

続きまして4点目の多可町立統合中学校開校準備委員会の開催についてご報告をさせていただきます。11月30日水曜日に開校準備委員会の第2回を終えております。第3回の会議につきましては、3月16日木曜日夜7時半からの予定です。住民の方にも広く公開で開催しますので、ご都合がございましたらお越しただけたらと思っております。第2回の開校準備委員会の協議状況につきまして、先に配布いたしました広報の原稿で簡単にご説明をさせていただきます。第2回の開校準備委員会では、主に制服について協議を行っております。制服に関するアンケートを総務部会の方で取っており、対象は、町内の小中学生の保護者、中学校の生徒、中学校の教職員で回収率は62%となっております。アンケートの結果ですが、まずQ1のところですが、統合中学校の制服が良いと思うのはどれですかという問いに対しまして、全体としては、ブレザーが41.8%、詰襟とセーラー服、現行の制服が29%、スーツが12.4%、どちらでも良いというのが10.1%、制服は必要ない私服というのが4.7%、その他が2%となっております。中学生の状況を見てみますと、詰襟とセーラー服というのが18%、スーツが9%、ブレザー45%、どれでもよいが12%、制服は必要ないという意見が15%ございました。中学校教職

員の方を見ていただくと少し傾向が異なっており、詰め襟とセーラー服という回答が2%と、かなり少ない状況でございました。ブレザーが40%で一番多く占め、その次にスーツ、どれでも良いっていうのは9%、制服は必要ないというのが若干全体よりも多く、その他が7%というような状況でございました。配付の資料には特に統合時に中学校1年生から3年生となる生徒の保護者の方、現小学校3年生から5年生の保護者の回答をピックアップをしております。こちらにつきましても大体全体と同じ傾向にはなるんですが、ブレザーが一番多く44%。スーツが13%。詰め襟とセーラー服というのも、根強い人気といえますか34%を占めているような状況でした。ただ、制服は必要ないという答えの方が1%ということで、かなり少ないような状況でございました。資料の一番下のところには現役の中学生の意見を一部抜粋して紹介させていただいております。セーラー服は不便ということで体温管理ができるように脱ぎ着ができる制服が良いといった意見やズボンやスカートを選べる制服が良いといった意見等がございました。

続いて、制服を変更する場合、新制服の購入はいつが良いですかという質問の回答を載せております。全体としましては、統合前ということで、令和6年度からが半分を占める結果となっております。この令和6年というのが、統合時の3年生から新しい制服は買えるようにさせていただいて、統合時には1年生から3年生まで新しい制服で揃うタイミングとなります。次に統合時の令和8年からが20.7%で、この問いに対しても小学校3年生から5年生の児童の保護者に関しての結果が若干傾向が異なり、統合前の令和6年から新しい統合中学校の制服を購入できるようにして欲しいという意見が圧倒的に多く65%という状況となっております。制服に関する小中学生の保護者の意見を資料にまとめております。一部抜粋となりますが、ジェンダーレスな制服にして欲しいという意見、高額なものはやめて欲しいという意見、自宅で洗濯ができる、取り扱いやすい素材が良いという意見もたくさんありました。また途中で制服を買い替えなくて済むような配慮をして欲しいという意見もたくさんあり、私服は経済的な負担が大きいので、やはり制服が良いという意見や、播州織を使った学生服をというご意見もありました。これらのアンケートの結果を踏まえ、開校準備委員会の方で決定した事項として資料に記載しております。第2回の統合中学校開校準備委員会の決定事項として、1つ目は制服は必要であると決定しております。2つ目に現行の詰め襟・セーラー服から機能的で多様性に配慮した制服に変更していくことが決定しております。3つ目に時期につきましては令和6年の新入生から購入できるように準備を進めていくことが決定しており、4つ目として当面の間はお下がりであったり、現行の詰め襟・セーラー服が着用できるような形を検討していくことで決定しております。資料にもありますが、この年末から1月中旬にかけて、第2弾の制服アンケート実施の方向で調整しております。アンケート第2弾は、制服に求める機能と制服のイメ

ージカラーという2点に重点を置いてアンケート調査をする予定としております。調査対象は、先ほど同様に町内の小中学生の保護者、中学校の生徒、教職員を予定しております。

また多可町立統合中学校の学校名の候補を募集していこうということで、この1月より31日までの期間で募集の予定としております。この募集の案内は、広報への掲載と並行してホームページにも掲載し、加えて子どもたちにはチラシで募集の案内をさせていただく予定としております。以上、統合中学校の開校準備委員会の2回の開催状況につきましてのご報告とさせていただきます。

続きまして部会の方を少し紹介させていただきます。総務部会の第4回では、第2弾の制服のアンケートで制服に求める機能やイメージカラーの結果をもとに協議を進める予定です。通学部会は、第3回を12月15日木曜日に開催しております。この日は3区に分かれて通学路について協議を行っており、各区におけるそれぞれの通学路の危険箇所を地図上にピックアップしまして、自転車通学の場合に想定される危険場所であったり、バス通学においてはこういった経路で通学するのが良いかというようなところまで議論していただいております。次回は、公共交通担当の企画秘書課も一緒にバス通学について検討を進めていこうということで共通理解を図っております。

また、教育・事務部会につきましては11月28日に第1回を開催しております。この際には、制服について議論していただき、総務部会と足並みをそろえて協議を進めております。

続いて5点目と6点目です。多可町図書館事業と那珂ふれあい館事業につきましては、お正月のイベント等を資料に掲載しております。

続きまして7点目です。令和5年の成人式につきまして生涯学習課の方から案内を受けております。毎年、教育委員さんにもご出席をいただいております。令和5年の成人式につきましては、1月8日 日曜日の開催ということで予定されております。受け付けが12時、開式が午後1時となっており、ご出席いただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。成人式には対象者の80%近い方が出席を予定されているということで、多くの方が出席されると聞いております。

続きまして8点目、11月の定例教育委員会の要旨録になります。訂正点等ございましたらこの場でお伺いしたいと思います。教育総務課の方からは以上の8点です。よろしく願いいたします。

教育長：それではただいまの教育総務課の報告につきまして何かご意見、ご質疑等ございましたでしょうか。自由討議で結構ですので遠慮なくご意見ををお願いいたします。委員さん何か聞きたいこととかはありませんか。

委員：今回の建設計画の冊子を見せていただいて、すごく具体的に書かれており、

設置予定地の地図とか、すごくイメージし易くわかりやすい資料を作っておき  
ているなと思いました。それから校内フリースクールのところですが、フリー  
スクールといえば学校に行けない子が行くというイメージですが。そもそも  
学校に行けないという子が、学校の中にあるフリースクールの教室に行くとい  
うのは少しハードルが高いかなと思います。学校に行けるようになればいいな  
とは思いますが、個人的にはここに来ている子たち、家に居て学校に行けな  
い子がこの教室の様子を見て、「誰か行っている。」とか「この子が行ってい  
るのならちょっと行ってみようかな。」みたいなイメージが持てるようになった  
らいいなと思いました。あと保健の先生やカウンセリングの先生とか誰かが常  
駐されて親御さんとこの教室を使ってという意味ではないのですがフリースク  
ールでオンライン等で連絡をとって相談できるなどの場になればいいなと思  
いました。

教育長：ご意見ありがとうございます。他の委員さんいかがですか。

委員：この資料を見せていただいて本当に綿密な非常に細かいところまで調整し  
ていろんなことを載せてくださっているのによくわかりました。その中で、少  
し気になったんですが、これは小学校、中学校でも一緒かなと思うんですが、  
自閉症の子や少し心に問題を抱えている子ども達が教室に入った際に、少し部  
屋を出たい、1時間ももたない、ちょっと出たい、小さな部屋でいいから逃げ  
ていきたい、その場から体を動かしたいといった場合に必要となる場所が委員  
さんが先程仰っていた部屋かなと思います。フリースクールにこういう部屋を  
使えるのかなと疑問に思ったりするんですが、この場合、広い部屋ではなく小  
さな部屋というのが必要ではないかと思うのですが、そういう部屋はどこかに  
あるのでしょうか。

それからもう一つ、いろんな計画をして校舎が新しくなっていくのですが、  
これに関して元の八千代中学校の校舎や加美中学校の校舎であった場所の跡地  
利用といいますか土地の再利用についてですが、どこかの業者さんが購入して  
くださるのかどうか、その辺のことが全然私にはわからないのですが、新しく  
できる校舎と並行して、そういうところも再利用ができる計画をぜひ進めてい  
ただきたいと思うんです。

教育長：ありがとうございます。「小さなお部屋」を作っていたらというよ  
うなことについて、教育総務課いかがですか。

事務局：ありがとうございます。委員さんの方からフリースクールのこと、また「小  
さなお部屋」というお話をいただきました。今回のコンセプトに掲げた、国が  
定める5つのコンセプトに加えて多可町では共感ということで、一人一人の子



どもたちの心に寄り添う学校ということを大きなコンセプトとしております。今回業者の方にもお世話になり、この基本計画ができました。今後2月末に新たに基本設計でこれを具現化していくために細かく設計していく業者を決定する予定です。職員室周りの1階部分や普通教室を想定した3階の周りであったり、様々な「小さなお部屋」を検討しております。今後、教育委員さんのご意見も参考にしながら具体化していきたいと思っております。あと、跡地活用につきましてもご意見をいただきましたが、いろいろな地域で説明していく中でも跡地活用についても並行して進めて欲しいという地域の声をたくさん聞いております。跡地活用を進めていく上で、こういった流れで進めていくかということについての方針を持っておりますので、適切な時期に具体的に跡地活用に向けて、まずは役場の中で町として活用する方向性があるのかどうかを決定した上で、その後に町の公共施設としての活用はないということになれば、学校の跡地ということになると大きな施設になりますので、地域の方とご相談させていただきながら一緒に進めていきたいと思っております。町長部局の方と一緒にあって、ここはきっちりと進めていきたいと思っております。

教育長：ありがとうございます。他の委員さん何かございますか。特にその他、教育総務課からいろいろとご報告があったのですが、よろしいですか。特にないようでしたら次に行きたいと思えます。それでは学校教育課よろしく願います。

事務局：まず、明日23日金曜日が小、中学校の終業式となっております。3学期は月曜日が祝日ですので、1月10日火曜日が始業式となります。

次に、基礎学力の定着ということで、小学校で町統一漢字・計算力テストを実施しております。冬休みに、この漢字・計算力テストの練習をしまして1月17日に一斉にテストを行うということで、毎年実施しております。

それから、第2回のトライやる・ウィーク推進協議会を1月19日木曜日に、夜7時から大会議室で行いたいと思っております。3年ぶりに5日間地域での活動ができたということで、子どもたちの感想や評価も少し良い方向に変わったところがありまして、来年度に向けてご意見をいただくということで、これについては、また岩田委員にお世話になりたいと思えます。学校教育課からは以上です。

教育長：今、3点の報告がありましたが、学校教育課に何かご意見はございますか。よろしいですか。

教育長：では、付け加えて学校教育課長お願いします。

事務局：コミュニティスクールの表彰のことをお知らせします。国の方でコミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰というものがあり、八千代小学校のコミュニティスクールが、兵庫県の代表としてノミネートされまして、このたび受賞が決定しております。また広報等でPRもしたいと思っております。お知らせしておきます。

教育長：課長の方から、どういう点が評価されたのか、簡単に言っていただけますか。

事務局：八千代小学校は校区が統合で変わったこともあり、地域と学校との一体感をもって一緒に教育を進めていこうということで、コミュニティスクールが平成30年度に立ち上がり、委員さんの方から何か学校の助けになるようなことができないかということで、一つは夏の学習会、地域の方に教えていただいております。それから、このところコロナ禍でできておりませんが交流会として餅つきとかも以前から実施しており、また再開できるようになるだろうかと思っております。あと、授業の方では、例えばミシンを使う家庭科の授業のときなどに補助として地域の方に入っていたりとか、絵本の読み聞かせをしていただいたりとかも進めております。

あとこの度、鼓笛が統合後に小学校の方であったのですが、コロナ禍で活動できなくなってしまっており、それをどのように復活させるかというところで、コミュニティスクールで知恵を出していただいて、今の地域のクラブ活動の形で「ささゆり鼓笛チーム」として復活させています。例えば鼓笛で先生方の負担軽減に繋がっているとのことで、その点を評価されての表彰です。以上です。

教育長：よろしいでしょうか。特に学校教育課の方にご質問等ないようですので、次に行かせてもらってもよろしいですか。

委員：はい。

教育長：次に、こども未来課の報告に移りたいと思います。それでは報告をよろしくお願いします。

事務局：まず、おもしろ算数数学講座です。先月の定例教育委員会でもお知らせしましたとおりで、Webを取り入れた開催とさせていただきますので、ご参加の方おられましたらお願いしたいと思います。

続いて土曜チャレンジで1月22日の日曜日10時から11時30分で、「ミラクルカイトを作ろう」ということで開催させていただきます。

続きまして、町子ども会の行事です。今年初めて多可町子ども会播州方言

かるた大会を開催させていただき予定で、対象は小学4年生以上です。1月15日 日曜日9時から、中コミュニティプラザで開催させていただきます。

続いて1月29日 日曜日に播州歌舞伎クラブの定期新春公演を開催させていただきます。こども未来課からは以上です。

教育長：サポーター等で、どんどん播州歌舞伎を盛り上げていただける方を募集しておりますので、最初はまず講演を見に来ていただくところからお声掛けしていただくと非常にありがたいと思いますので、よろしく願います。それでは、ただいまのこども未来課の報告につきまして何かご意見、ご質疑等はないでしょうか。

教育長集約：委員さんいかがですか。何かありますか。それではこれでこども未来課からの報告を終了いたします。次に報告事項（3）次回教育委員会の開催日について調整したいと思います。

### （3）次回教育委員会について

と き：令和5年1月26日（木） 午後13時00分～

教育長：次に（4）その他に入りますが事務局を含めて何かありますか。ありませんか。

この配付資料についてどうですか。教育総務課の統合の資料ですが、小中一貫教育と同様のものが配付されています。小中一貫教育の図は、先に校長会、教頭会で提示し協議していただいたものと同じ資料が配布されていると思いますが12月6日の校長会で小中一貫教育について協議次第ということで、校長先生方と協議したということで、参考までに配布しております。先ほどの報告の中で申し上げました。なぜ小中一貫教育なのかという辺りを、そこに書いておきますのと、あと全国学力学習状況調査の小学校、中学校のいろんな質問の調査結果も「質問紙調査」として記載しており、多可町の取り組みの状況がどうであるかということの資料が添付されております。その質問紙調査の結果、すぐれているところは青で示されており、少し課題があるところは赤系の色で示されております。それと小中一貫教育の主なねらいとして横長の緑色の棒グラフ状のものを掲載しておりますが、主な目的は学習上の学習指導上の効果を上げるとか、生徒指導上の成果を上げるとか、9年間を通して育てるという意識改革が狙いです。

それから、小中一貫教育の成果としては実施校へのアンケートによりますと、特に中学校への進学に不安を感じる児童が減少したとか、小中学校の教職員で互いのよさを取り入れる意識が高まったなどが成果であるのととらえられております。最後に課題としては教職員の負担感、多忙感の解消で、新たな取り組み

ということもあり、どうしてもそういったものが出てくるというのは実施校のアンケートでも明らかになっております。こういうことも小中学校の先生方とも協議しながら進めていきたいと思っております。

教育長集約：それでは本日予定しておりました、定例教育委員会の議事日程はすべて終了いたしました。これで委員会を閉じたいと思います。皆さんご協議ありがとうございました。

**【閉 会】**

教育長 午後2時30分 閉会宣言

令和4年12月22日

-----  
印

-----  
印